

北名古屋市中期財政計画
令和3年度～令和7年度

令和2年12月

北名古屋市財務部財政課

目次

1	中期財政計画の概要	1
(1)	中期財政計画とは	1
(2)	計画期間	1
(3)	対象となる会計	1
2	本市の財政状況	2
(1)	歳入歳出決算額の推移	2
(2)	歳入決算額の推移	2
(3)	歳出決算額の推移	3
ア	目的別決算額の推移	3
イ	性質別決算額の推移	3
(4)	公債費及び地方債残高	4
ア	公債費の推移	4
イ	地方債残高の推移	4
(5)	基金残高	5
3	今後の財政見通し	6
(1)	試算の前提条件	6
(2)	歳入の見通し	8
(3)	歳出の見通し	9
(4)	財政調整基金の見通し	9
4	持続可能な財政運営への取組	10
(1)	計画の推進方法	10
(2)	財政課題	10
ア	財政調整基金の残高の確保	10
イ	財政の硬直化への対応	10
ウ	公債費の抑制	11
エ	公共施設の最適化	11
(3)	今後の取組	12
ア	経常収支比率の適正化	12
イ	公債費の抑制	12
ウ	財政調整基金の確保	13
エ	その他の取組	13
ア	歳入の確保及び受益者負担の最適化	13
イ	歳出の抑制	13
ウ	その他	13

1 中期財政計画の概要

(1) 中期財政計画とは

本市は、平成18年3月の合併以来、北名古屋市総合計画に基づき、目指すまちの姿として「健康快適都市」を掲げ、その実現に向け様々な事業に取り組んでまいりました。

こうした中、歳入では、合併特例債や普通交付税の合併算定替えなど、合併に伴う財政上の優遇措置を有効に活用し、都市としての基盤づくりに努めてきました。しかし、合併後15年が経過し合併による財政的な特例措置も今年度をもって終了します。

一方、歳出では、防災機能の強化や市民との協働によるまちづくりを進める中、保育園入所待機児童ゼロを堅持するとともに、教育施設の耐震化や空調設備の整備、また児童クラブや放課後子ども教室など、ハード・ソフト両面においてバランスの取れた事業を実施することにより、子育てしやすいまちづくりに取り組んでいるところです。

このような状況の中、今後予想される少子高齢・人口減少社会の到来に向けて、将来にわたって安定的な行政サービスを提供するためには、健全で持続可能な財政運営は不可欠です。

以上のことから、中期的な視点に立った財政計画を策定します。

(2) 計画期間

令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

ただし、本計画は現時点での税制度、地方財政制度及び本市の財政運営を基に行っており、今後の景気動向や国県の制度改正、社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて見直します。

(3) 対象となる会計

一般会計を対象とします。

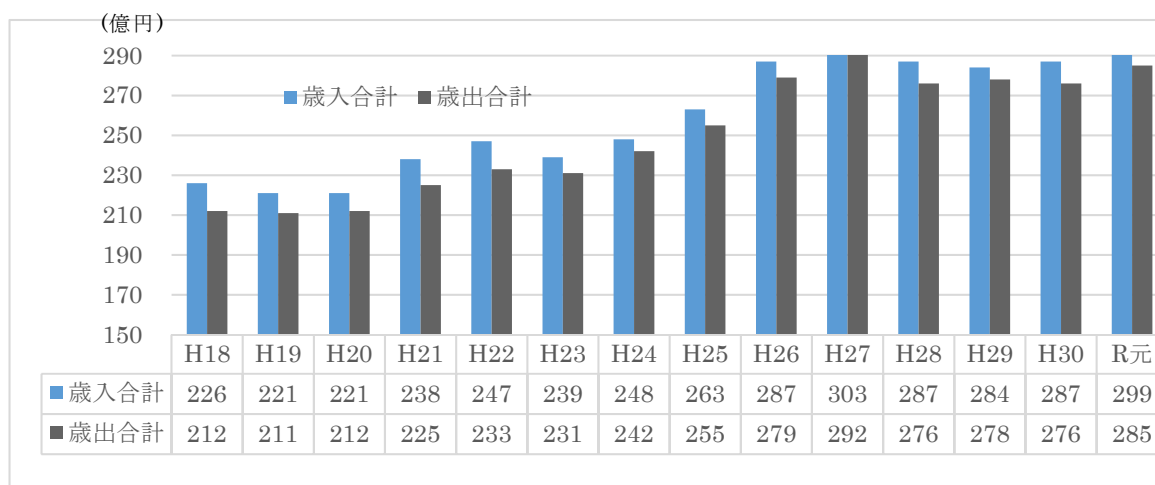
ただし、歳入・歳出決算額の推移については、普通会計[※]とします。

※ 普通会計

普通会計とは、一般会計と特別会計を合算したもので、会計間の繰出し・繰入れ等の重複額等を控除した純計額を表わしたもの。

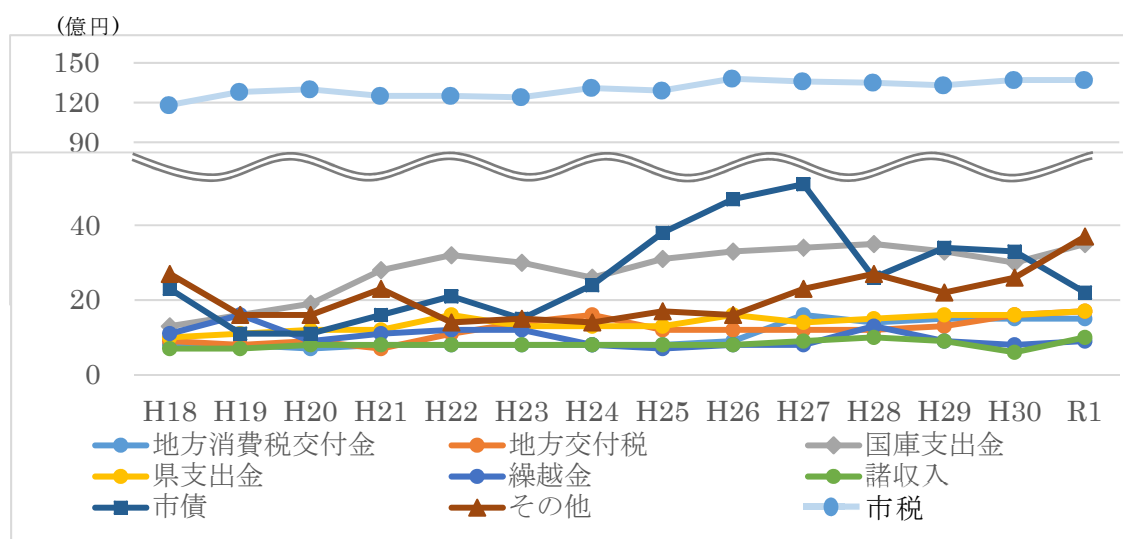
2 本市の財政状況

(1) 歳入歳出決算額の推移



歳入歳出決算額は、合併以来増加傾向が続き、特に平成25年度以降は合併特例債を積極的に活用した給食センター、総合運動広場、庁舎耐震工事、小中学校耐震工事及び空調設備等の建設事業の増加により、令和元年度決算では、合併時と比べ財政規模が34.4%増加しています。

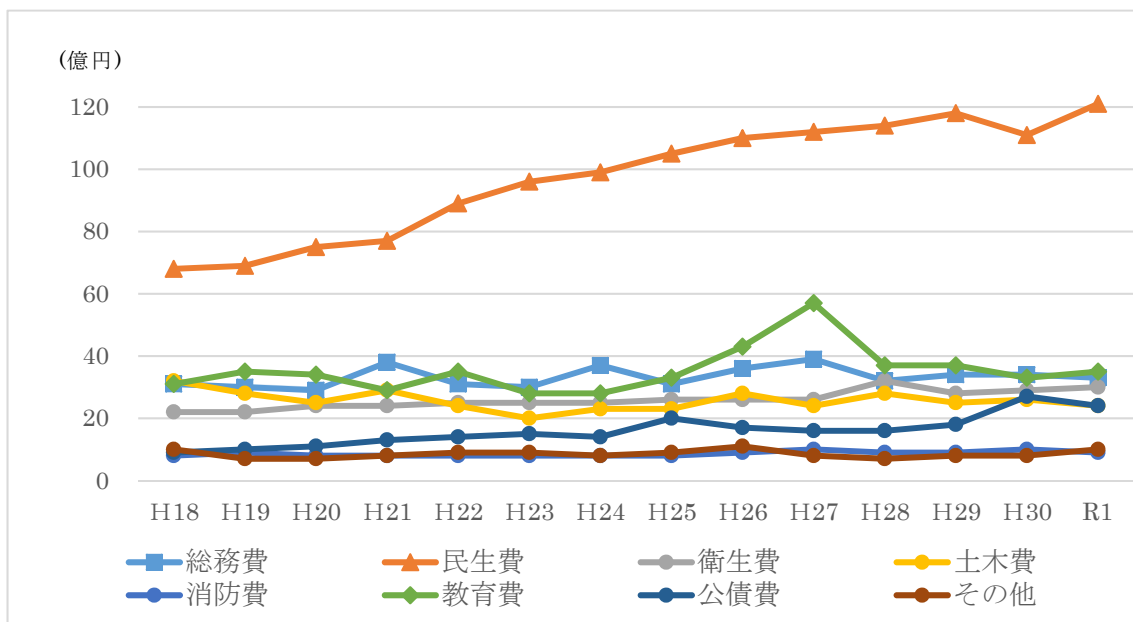
(2) 歳入決算額の推移



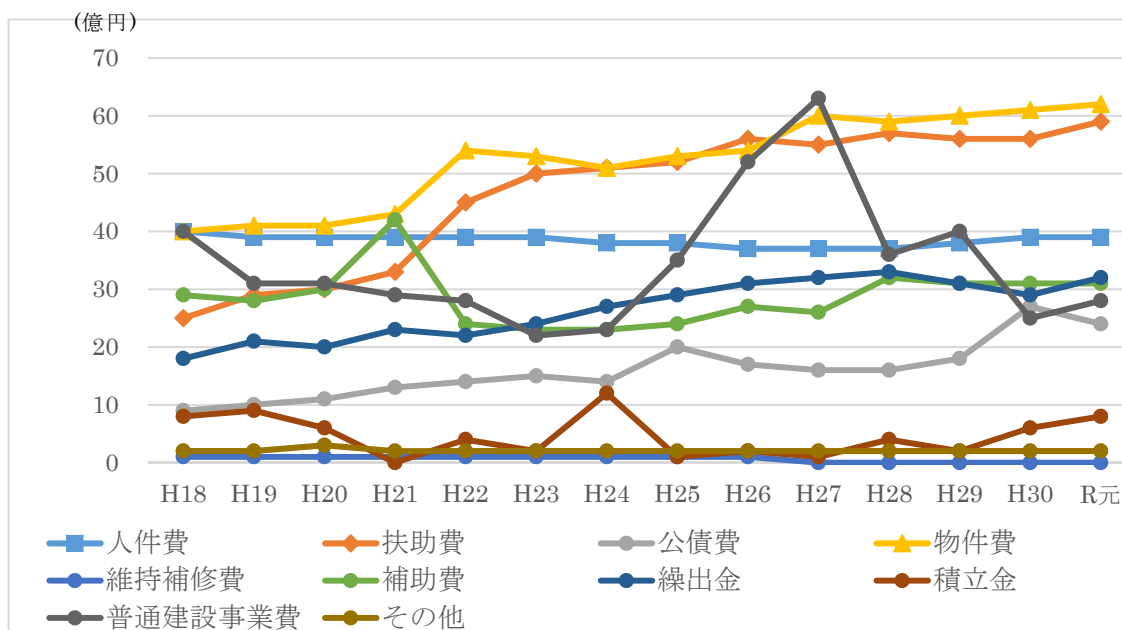
歳入決算額は、歳入の根幹をなす市税では平成20年のリーマンショックにより一時的な減収があったものの、景気回復基調に伴う個人市民税の増収、また、宅地化に伴う固定資産税の増額などにより、緩やかな増加傾向が続いています。しかし、令和2年度以降は新型コロナウイルスの影響により大幅な減収となることが見込まれます。

(3) 歳出決算額の推移

ア 目的別決算額の推移



イ 性質別決算額の推移

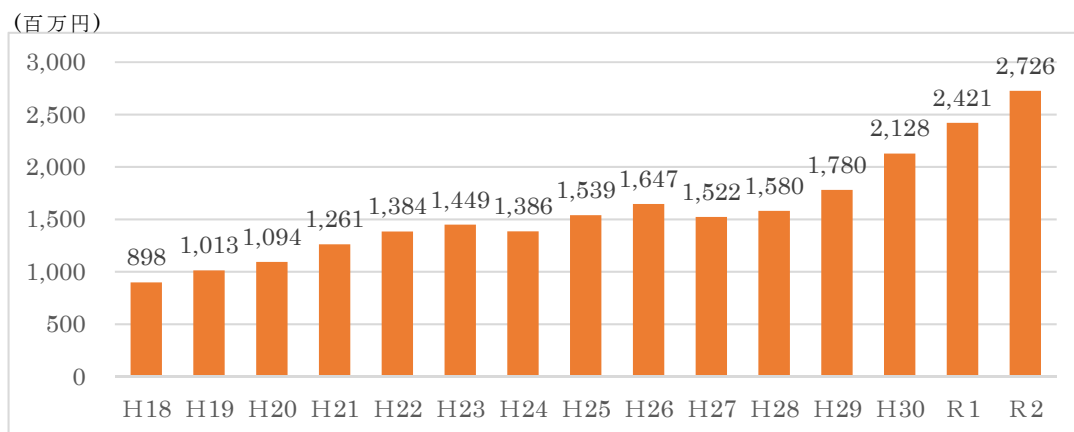


歳出決算額を目的別にみると、民生費の伸びが顕著で、令和元年度には平成18年度と比べ77.5%増加しています。これは、市民の生活や労働環境の変化により、保育や児童クラブへの需要の高まりによる児童福祉費や、社会保障としての医療費の増加によるものです。

性質別では、扶助費が子育て支援及び障害者施策の充実などにより、平成18年度と比べ2.4倍、歳出全体に対する割合も11.7%から20.5%と大幅に伸びています。また、民間活力の導入により、人件費の増加を抑制したものの物件費が大幅に伸びています。

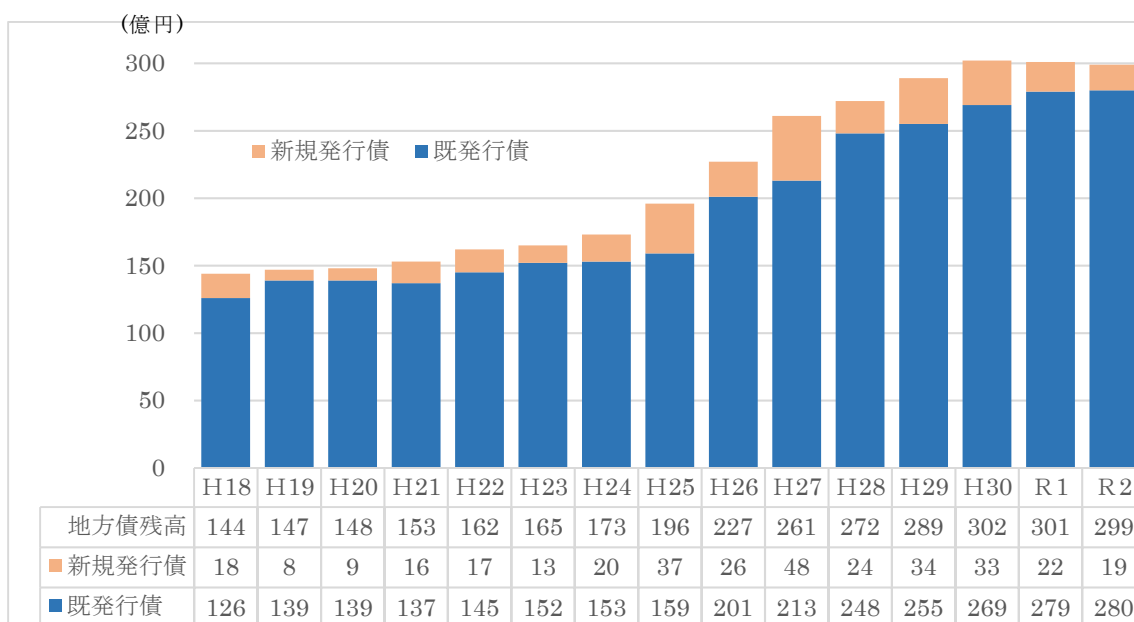
(4) 公債費及び地方債残高

ア 公債費の推移



普通建設事業の財源として、地方債、特に平成25年度以降に合併特例債を積極的に活用したことから、その償還が開始された平成29年度以降の公債費が大幅に増加しました。

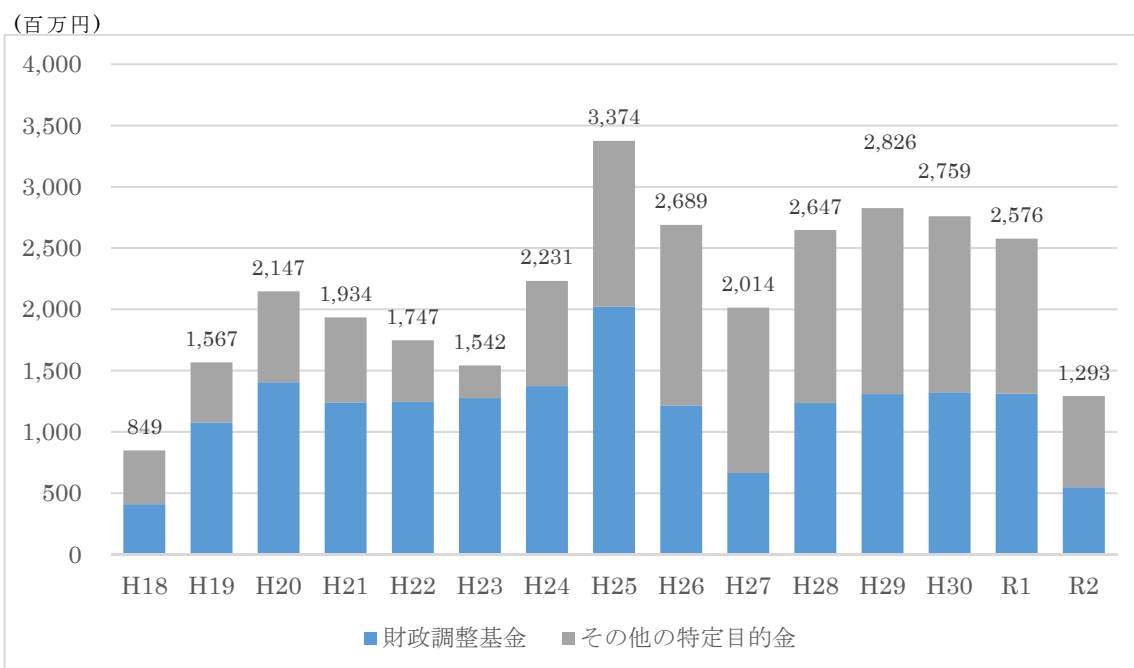
イ 地方債残高の推移



地方債残高は、平成18年度末は144億円でしたが、平成30年度末には2倍以上の302億円となっています。これは平成25年度以降、給食センター、総合運動広場、庁舎耐震工事、小中学校耐震工事及び空調整備等に合併特例債を積極的に活用したことによります。

今後は、令和元年度をピークに減少していく見込みです。

(5) 基金残高



年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
財政調整基金	410	1,077	1,405	1,241	1,244	1,276	1,374	2,021
その他の基金	439	490	742	693	503	266	857	1,353
合計	849	1,567	2,147	1,934	1,747	1,542	2,231	3,374
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
財政調整基金	1,216	665	1,236	1,308	1,323	1,311	548	
その他の基金	1,473	1,349	1,411	1,518	1,436	1,265	745	
合計	2,689	2,014	2,647	2,826	2,759	2,576	1,293	

基金残高は、平成24年度以降、特定目的基金と合わせて、毎年度20億円以上を確保してきましたが、令和2年度は18.7億円を取崩して予算編成を行ったことから、12.9億円と大幅に減少しました。

財政調整基金は、経済状況の著しい変動や災害など想定外の支出に伴う財源不足に充てることにより、年度間の財政の不均衡を調整する基金であることから、過度な取崩は行わず一定額を確保する必要があります。

3 今後の財政見通し

(1) 試算の前提条件

令和2年度（当初予算）を基準年度とし、令和3年度から令和7年度までの予算について、以下の条件のもと、試算を行いました。

（歳入）

区 分	内 容
市税	<ul style="list-style-type: none"> ・個人市民税は、新型コロナウイルスによる影響を考慮し一時的な減収を見込むが、その後は回復すると想定。 ・法人市民税は、新型コロナウイルスによる影響を考慮するとともに、税率改正による影響を反映。 ・固定資産税・都市計画税は、評価替えによる影響を見込む。
地方譲与税	<ul style="list-style-type: none"> ・地方譲与税は、令和2年度と同額を見込む。 ただし、森林環境譲与税は、増額分を見込む。
交付金	<ul style="list-style-type: none"> ・地方税交付金は、令和2年度と同額。ただし、地方消費税交付金は、税率引き上げ分を反映した上で、新型コロナウイルスによる影響を、法人事業税交付金は、税率改正分を見込む。
地方交付税	<ul style="list-style-type: none"> ・普通交付税は、令和3年度以降、合併算定替えの特例措置終了後の数値を見込む。ただし、令和3年度は、新型コロナウイルスによる影響を見込む。 ・特別交付税は、令和2年度と同額。
国・県支出金	<ul style="list-style-type: none"> ・経常経費に係る分については、関連する歳出の増減に連動させて収入額を見込み、臨時的な経費については事業内容に相応する補助率を考慮して見込む。
繰入金	<ul style="list-style-type: none"> ・各年度の財源不足額は、財政調整基金の基金繰入金により調整し、特定目的基金については、目的に沿った事業の財源として必要最小限の繰入を見込む。
繰越金	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の予算状況に応じて見込む。
市債	<ul style="list-style-type: none"> ・建設事業債は、普通建設事業と連動。 ・臨時財政対策債は、令和3年度以降、合併算定替えの特例措置終了後の数値を見込む。ただし、令和3年度は、新型コロナウイルスの影響を見込む。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度を基準として同額を見込む。ただし、令和3年度から令和5年度までは、公共施設の統廃合等による余剰資産や低未利用資産の売却益を見込む。

※ 新型コロナウイルスの影響については、令和3年度地方交付税算定基礎（案）等を参照した。

(歳出)

区 分	内 容
人件費	・職員人件費は、定員適正化計画及び過去の推移を、会計年度任用職員は過去の推移を参考に見込む。
扶助費	・扶助費は、過去の決算の伸びを参考に、高齢者人口の増加や社会保障制度の充実を想定し、年平均2.0%程度の伸びを見込む。
公債費	・公債費は、既に借り入れている分については、償還計画により算定した。
物件費	・物件費は、事業の精査により削減を見込む中、ICTの導入や業務のデジタル化を見込み1.0%の削減を見込む。
補助費等	・補助費は、一部事務組合における事業計画や事業費の増加を踏まえ見込む。
普通建設事業費	・令和3年度及び令和4年度は、必要最小限の整備にとどめ、令和5年度以降は、順次、都市基盤整備を進められるよう見込む。
繰出金	各特別会計の事業計画に基づき必要な額を計上した。
その他	令和3年度を基準として同額を見込む。

(2) 歳入の見通し

令和3年度は、歳入の根幹をなす市税について新型コロナウイルス感染症の影響を受け、個人所得や企業の業績の伸び悩みなどにより減収が見込まれます。

また、地方交付税（普通交付税）は、合併算定替の特例措置の影響を見込み、歳入全体としても増加は期待できない状況です。

そのため、公共施設の統廃合による余剰地や遊休地の売却等により財源を確保する必要があります。

【歳入】

(単位：百万円)

区 分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
市税	13,695	12,947	13,434	13,510	13,663	13,792
地方譲与税	197	197	198	198	200	200
交付金	2,111	2,098	2,242	2,259	2,259	2,259
地方交付税	1,610	1,596	1,521	1,521	1,521	1,521
普通交付税	1,470	1,456	1,381	1,381	1,381	1,381
特別交付税	140	140	140	140	140	140
国庫支出金・県支出金	5,785	5,844	5,844	5,994	5,964	5,934
繰入金	1,870	847	494	394	394	394
財政調整基金繰入金	1,121	753	400	300	300	300
その他基金繰入金	749	94	94	94	94	94
特別会計繰入金	0	0	0	0	0	0
繰越金	600	600	500	500	500	500
市債	1,881	1,780	1,880	2,155	2,155	2,005
普通建設事業債	881	399	499	774	774	624
臨時財政対策債	1,000	1,381	1,381	1,381	1,381	1,381
その他	1,641	1,869	1,869	1,683	1,641	1,641
歳入合計	29,390	27,778	27,982	28,214	28,297	28,246

※令和2年度は当初予算額。

(3) 歳出の見通し

令和3年度は新型コロナウイルスの影響により大幅な減収が見込まれることに加え、財政調整基金の残高が減少していることから、公共施設の統廃合や事務事業の見直し等により、積極的に歳出の縮減を行います。

また、新型コロナウイルスの影響については、令和4年度以降、緩やかに改善していくものと見込んでいます。

【歳出】

(単位：百万円)

性質別区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
義務的経費	13,731	13,814	13,963	14,028	14,053	14,123
人件費	5,601	5,556	5,578	5,599	5,621	5,643
扶助費	5,404	5,512	5,622	5,735	5,849	5,966
公債費	2,726	2,746	2,763	2,694	2,583	2,514
物件費	6,069	5,716	5,713	5,659	5,658	5,655
補助費等	4,865	4,173	3,958	4,021	4,085	4,150
普通建設事業費	1,916	1,461	1,773	1,927	1,920	1,757
繰出金	2,350	2,351	2,312	2,316	2,318	2,298
その他	459	263	263	263	263	263
歳出合計	29,390	27,778	27,982	28,214	28,297	28,246

※令和2年度は当初予算額。

(4) 財政調整基金の見通し

財政調整基金は、計画的な積立てを行うとともに、予算の執行残額を積極的に積立ての財源とすることにより、基金残高を確保します。

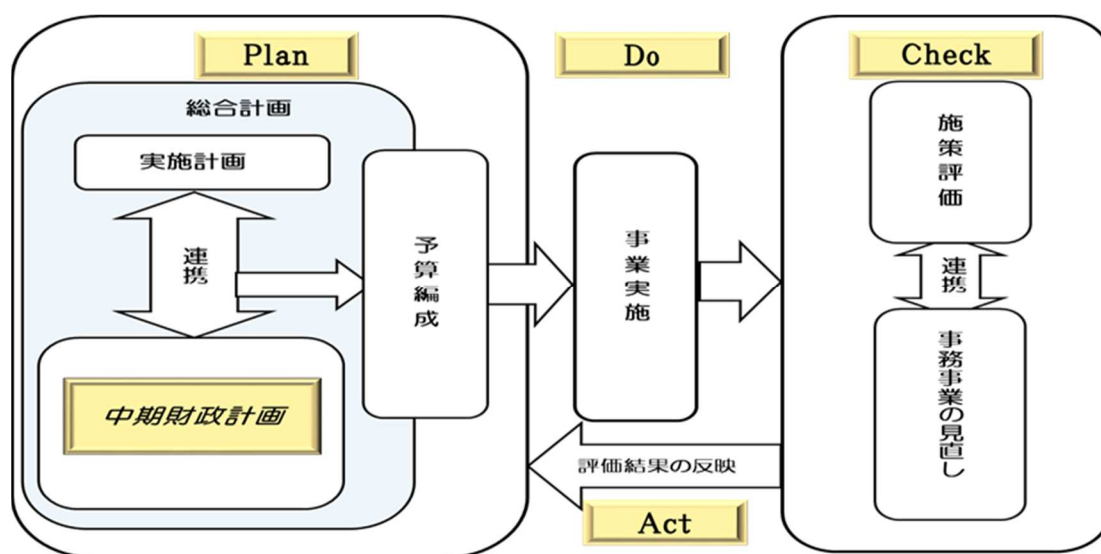
(単位：百万円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
財政調整基金現在高	589	689	890	1,089	1,190

4 持続可能な財政運営への取組

(1) 計画の推進方法

市の最上位計画である総合計画を着実に推進するためには、事業実施に係る具体的な事業計画である実施計画と、その財政的な裏付けとなる財政計画が車の両輪のように密接な連携が必要となります。こうした計画に基づく予算編成により実施した事業にあっては、その成果を評価指標等により客観的に評価するとともに、随時見直しを行い、財政計画との整合性を図りながら次期計画に反映する仕組み（P D C Aサイクル）を機能させることにより、効率的で効果的な財政運営を推進します。



(2) 財政課題

ア 財政調整基金の残高の確保

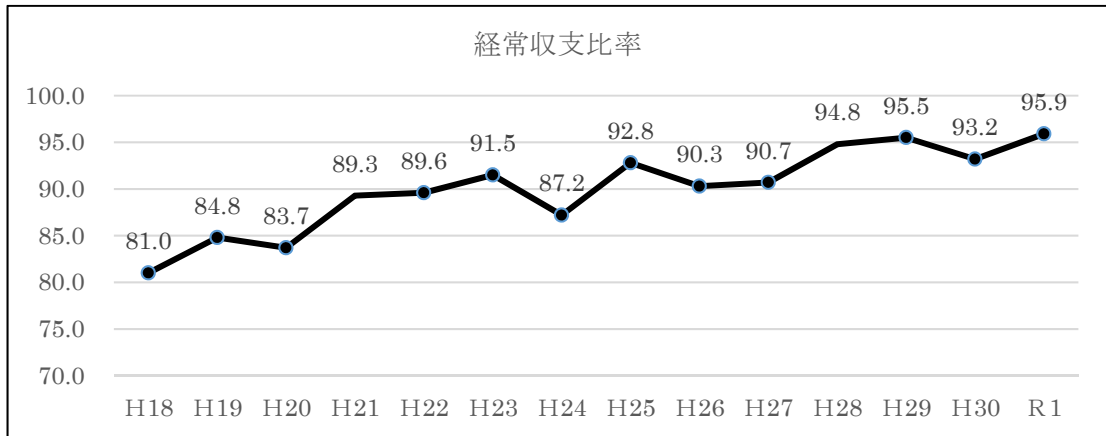
地方自治法では、「各会計年度における歳出は、その年度の歳入をもって、これに充てなければならない」と定めており、収支が均衡した財政運営を原則としております。そのため財政調整基金の取崩は、経済状況等により一時的に歳入が不足する場合や、災害等の不測の事態へ対応するための財源として、目標を定め一定額の基金残高の確保に努めなければなりません。

イ 財政の硬直化への対応

本市は、名古屋市都心部から約10分という利便性の高さから住宅地としての需要が高く、働きながら子育てできる環境へのニーズに応えるため、保育や教育また児童館・児童クラブなど、子どもたちの居場所づくりを重点的に行ってきました。また、公共施設の借地料や建物の老

朽化に伴う維持補修費のほか、高齢化等による社会保障費などの経常的な経費の増加に伴い経常収支比率が高くなり、財政の硬直化が進んでいます。

今後は、過去の起債の償還が終了することにより、経常収支比率は減少すると予想されますが、更なる地方債の発行の抑制やICTの導入、事務事業の見直しなどにより、人件費・物件費を始めとした義務的経費の削減により、適正な経常収支比率を維持する必要があります。



【経常収支比率の推移】

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
経常収支比率	81.0%	84.8%	83.7%	89.3%	89.6%	91.5%	87.2%
年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
経常収支比率	92.8%	90.3%	90.7%	94.8%	95.5%	93.2%	95.9%

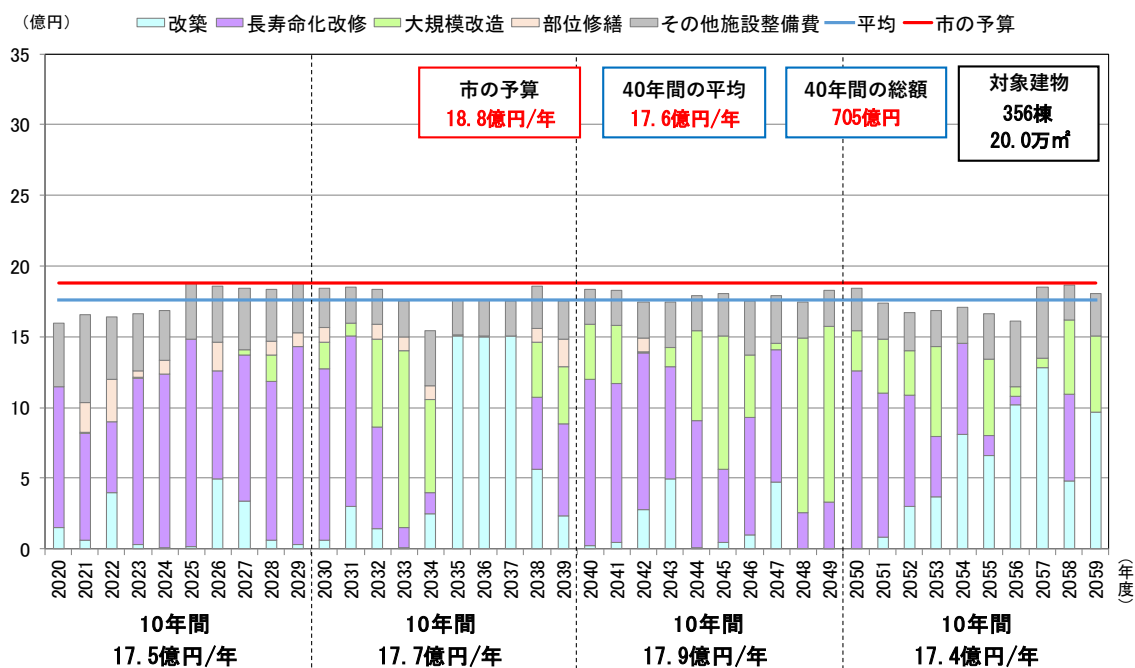
ウ 公債費の抑制

本市は、合併以降新たな都市づくりに向けた基盤整備の財源として、196億円を超える合併特例債を活用してきました。合併特例債は、事業費の95%が発行可能限度額であり、その元利償還金の70%が普通交付税の基準財政需要額に算入される財政的に非常に有利な起債です。しかし普通交付税で措置されない償還額の30%相当額は完済までの間、財源を圧迫することには変わりがないことから、今後は地方債の発行を抑制する必要があります。

エ 公共施設の適正化

市の公共施設は、学校施設を始め建設年の古い施設が多く、老朽化が進んでおり、今後施設の改修・更新時期が集中し多大な財政負担が予想されます。試算では、今後40年間の維持更新・費用は年平均17.6億円と想定されていますが、人口減少や少子高齢化による財政状況の変化を踏

まえ、利用頻度の低い施設や重複した目的を持った施設等についてはその利用価値を見直し、より効率的に行政サービスへ繋がるよう、統廃合や用途の見直しを進める必要があります。



(3) 今後の取組

持続可能な財政運営の確立のため、下記項目を目標として設定し、財政の健全で安定した財政運営を図ります。

ア 経常収支比率の適正化

今後、行政のデジタル化の推進や社会保障制度の変更など、法制度や国策等より大きく影響を受ける値であることから目標値を次のとおりとする。

【目標値】

総務省が定める、前年度の県内類似団体の平均値以下とする。

イ 公債費の抑制

後年度の財政負担を軽減するため、公債費を抑制する。

【目標値】

地方債の新規発行額を、当該年度の元利償還金以下の額に抑制する。

ウ 財政調整基金の確保

安定した財源基盤の確立のため、財政調整基金の残高を確保する。

【目標値】

予算編成時における財政調整基金の現在高を、将来的に標準財政規模の10%を目安とする。

エ その他の取組

(ア) 歳入の確保及び受益者負担の最適化

- ・市税収入の確保
- ・ふるさと納税、広告掲載事業、ネーミングライツなど、新たな収入の拡充
- ・受益者負担の原則に基づく使用料等の最適化
- ・公共施設の統廃合等による余剰資産や低未利用資産の売却

(イ) 歳出の抑制

- ・事業事務の継続的な見直し
- ・ICTの推進によるコスト削減
- ・事務事業の見直しなどによる人件費、物件費を始めとした義務的経費の削減
- ・各種補助金の適正化
- ・特別会計への法定外の繰出金の縮減

(ウ) その他

- ・公共施設の統廃合を含めた適正配置及び長寿命化の推進
- ・事業量に応じた人員の適正配置